

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 7 月 19 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900333		
法人名	社会福祉法人 三誓会		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	令和3年6月24日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900333-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年7月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>新型コロナ感染防止対策に取り組み、ご利用者様お一人おひとりを大切に見守り、声掛けを行い、安心・安全で笑顔の見られるよう、心に添ったケアを行っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>現在はコロナ禍で外出自粛だが、感染状況を踏まえ、医師と相談を行い、今年の春には花見が実現された。なお、散歩や市内のドライブ、事業所玄関前の駐車場、ベランダなどで椅子を並べて日光浴を楽しまれ気分転換を図っている。最近の特徴的な取り組みとして、第一に、今年度から各ユニットリーダーの配置を行い、更なる利用者のサービスの質の向上に向けた取り組みをしている。第二に、職員側にも感染予防を徹底し、感染を持ち込まないように感染対策を講じている。第三に、利用者にとっては、習慣化されている朝・夕2回の体操や、レクリエーションの取り組みを継続している。昨今の災害状況を踏まえて、減災対策に向けた取り組みとして、災害時には、地域の方にも事業所を一時避難場所として提供し、防災拠点の役目を果たす機能を備えている。</p>

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関と各フロアに額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいます。	理念は玄関と各フロアに掲示し、職員は仕事開始時に意識する事が習慣となっている。職員の名札の裏に、理念を記載し、個々がその都度振り返り日々のケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。コロナ禍で、地域との交流が難しい状況を受け、今後は現状に即して理念を改定したいと考えている。	今年度から各ユニットリーダーが配置された経緯から、今後は、年間目標を作り上げ、実行・検証を月1回のミーティングなどを通して、理念に沿ったケアができているか振り返りを行うことを望みます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在はコロナの為活動は出来ませんがボランティアの慰問をお願いしたり、2ヶ月に1回地域の方も参加して頂いて入居者様の現状をお伝えしたりして交流を持てるように努めています。	コロナ禍で行事毎の自粛、高齢化率が高い地域のこともあり、地域との関わりが難しい状況である。減災対策に向けた取り組みとして、災害時には、地域の方にもホームを一時避難場所として提供できるようにしている。ホームとして防災拠点の役目を果たす機能を備えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会しています。災害時には、地域の方にも一時避難場所としての提供を出来るように町内の方とも話し合いをしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換をしています。	本来の運営推進会議では、家族、民生委員、市担当者又は地域包括支援センター職員など、多職種が参加している。コロナ禍での開催のため、感染状況を踏まえて、参加可能な時期には参加のお願いをしている。難しい場合は、開催後に各メンバーに議事録を送付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加して頂き、施設の状況を把握して頂いていますが、緊急事態宣言中は会議の開催ができない為、困った時には高齢者福祉課に相談させて頂いています。	主に管理者や、各ユニットリーダーがパイプ役となって、市担当者と相談・手続きなどで連携している。市担当者とは日頃から相談や事故報告書を提出、必要時には電話連絡などで相談し、協力関係を築けるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員同士で声を掛け合い・見守りを徹底している。定期的に施設内・外への研修にも積極的に参加するようにしています。	年2回の研修会を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。身体拘束適正化の対策を行い、事例検討を行っている。夜間の転倒防止のため、ベッド柵、センサーマット、便座に鈴などを設置して拘束廃止に向けた支援を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外での研修に参加し、施設内で勉強会を開き職員間で意見交換をしたり情報交換をして理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている入居がおられる為、説明を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時に、締結、解約、改定等の説明を行い、不安や疑問を払拭するように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加して頂き意見交換の場を設けています。入居者様には日々の会話から要望されていることを聞き取るよう努めています。	苦情箱の設置や、利用開始時に必要性を家族に説明している。日々変わったことがあれば、家族へ随時連絡している。利用者の個々の要望などは、日々の関わりから受け止め対応している。意見があった時は、1日4回の申し送りなどで話し合い、早めに対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案などの話し合う機会を設けたり、個人面談を行い運営に反映させています。</p>	<p>月1回のミーティングを行い、意見を聴く機会を設け、業務など見直しをその都度行っている。管理者と年1~3回と必要に応じて個人面談を実施している。働きやすい職場づくり、離職をしない職場づくりという法人の方針により、例えば、資格取得のため、勤務調整などしやすい環境を整えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は管理者、ユニットリーダーと会議を行い、職員の意見等を踏まえ職場環境の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内では月に1回勉強会を開いています。施設外の研修にも積極的に参加できるように配慮しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修会に参加し、多職種との繋がりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰り職員に伝達しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>コロナ禍の中で入居前の施設見学は出来ない状況ですが家族、ご本人様と面談を行い納得、安心して頂けるよう関係を築いています。入居後は職員が十分に関りを持ちながらケアを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者同様、家族様に対しても先ず管理者、ユニットリーダーが話を傾聴し関係を築いています。職員は入居者様との関りを持ちながら徐々に家族様と色々な会話ができるよう関係を築いています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居者様、家族様の話をよく聞き、どの様な事を必要としているか判断してサービスを提供している。必要とされている事が変われば随時対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様の体調に考慮し、入居者、職員と一緒にレクリエーションや会話を楽しんだりし、また家事や作品作りにも協力して頂き良い関係が築けるように努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>衣替え交換や消耗品を持参して頂くよう協力をお願いし定期的に面会に来て頂いています。(現在はガラス越しや面会室での短時間の対応になります)その中で家族の要望を聞き職員と協力し合う事でお互いの理解を深められるように努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人の面会等も受け入れています。現在はコロナの影響で面会は出来ませんが、電話などの取次も行っています。</p>	<p>外出、外泊は自由に行っている。知人の面会、電話の取り次ぎを行い、旧知の関係性を継続している。現在はコロナ禍による面会制限下、玄関などでの窓越しに短時間の面会を実施した経緯がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者の関係性を把握し無理のないよう楽しい時間が過ごせるよう職員が架け橋になるよう努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービス終了時に、今後も相談等の対応できるようお伝えしています。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の会話の中から入居者様の思いを汲み取り、家族様には面会時、ケアプラン説明時に聞き取って支援を検討し実施に努めています。</p>	<p>当初は、利用者の習慣や好みなど、基本情報を共有して支援を行い、その後利用者毎の担当職員がその方に深く関わりをもつことで想いを受け止め、1日4回の申し送りなどで共有している。利用者個々の希望や意向は反映され、可能なことは実現できるように支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>アセスメント情報や生活歴、暮らし方等ご本人の会話や家族様からの聞き取りから把握し施設での生活に活かせるよう努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居者様の担当を設けています。1対1での関りも意識して持ち理解を深めるよう努めています。また、日常生活を過ごして行く中で心身の状態や身体機能の現状を把握するように努め本人のペースに合わせた生活を送って頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様、家族様から要望等聞き取り、ケアマネを中心に担当スタッフとケアプランを作成しています。全スタッフでサービスを実施し毎月カンファレンスを行っています。	利用者毎の担当職員の情報を基に計画作成担当者を中心に担当職員とケアプランを立案している。毎月のモニタリングを行い、ミーティングなどでケアプランの意義の説明をその都度行い、職員研修にも力を入れている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の個別記録、申し送りでは情報や心身の状態や健康状態の共有を図っています。申し送りノートを活用し職員間での情報交換を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ニーズの変化に対応できるようその都度、職員間で検討し日々の支援やサービスに取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のボランティアを受け入れ情報を収集しています。現在は受け入れができませんが地域と施設が協力し合えるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居者様希望のかかりつけ医の往診を受け入れ、転院する際は紹介状の依頼をしている。受診の時は、情報提供書を作成し適切な治療を受けれるように配慮しています。	24時間相談できる体制と主治医の応診が週1回ある。訪問看護の毎日往診体制を受けることができる。必ず往診前、往診終了後に医師、薬剤師、訪問看護職員と一緒にカンファレンスを実施している。コロナ禍のため専門医の受診先で家族と会う形もある。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行い、気付いた事は報告する体制をとり、異変時には往診・受診の判断をお願いしています。また24時間体制で連携が図れるように緊急時対応を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員とソーシャルワーカーが連携を取り、介護サマリー・看護サマリーを持ち入り情報交換を行い安心安全な生活が提供できるように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設への申し込みの説明をしたり、当施設でも終末期に向けた取り組みをしている事を十分に説明し、ご家族と話し合いながらケアができるように努めています。	利用開始時に説明し、医療行為ができないため、看取りの経験は今のところ無い状況である。重度化やターミナルケアに向かう事例が出た場合にはその都度、主治医や家族との話し合いを重ねて特別養護老人ホーム、病院対応へのスムーズに移行が出来るように適切な支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用し、日々のケアから実践力を身につけている。また、随時、施設内での勉強会の開催に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めています。水害・地震・津波時の訓練の実施や避難経路のマップを作成しています。	水害、夜間を想定した火災訓練を年2回実施している。津波、水害が予測されるため、1階から2階への垂直避難または避難場所として、高台の神社へ避難する行動計画の体制が機能している。水害の事を踏まえ、備蓄は3日間程度の食糧・飲料水など、2階に整備している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	施設内・外の研修や勉強会などを受け、認知症を理解・再認識し思いやりを持ったケアを提供しています。	年間研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。利用者に対する言葉かけも不適切な対応にならないように、日々の言葉掛けも、一人ひとりの性格やペースに合わせて対応している。ケースファイルも本人が特定出来ないようにアルファベットで表記している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ゆっくり時間をかけ日常会話の中から希望を聞き出したり、日常生活の中で働きかけたり、雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を優先する事もあるが、個人の思いを尊重し無理のない生活を支援できるよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼しています。また、ご自身で洋服を選んで頂けるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1回はイベントを開いたり、誕生日会を開いています。昼食をお楽しみメニューに変更しています。手作りおやつを作り時にはお手伝いをお願いし楽しみを持って頂いています。	利用開始時に嗜好調査を実施している。真空低温調理された副食が届き、職員が仕上げ、主食と味噌汁を添えて提供している。月1回のイベント食では、お花見弁当、敬老会、お寿司など提供している。月2～4回の手作りおやつでは、ホットケーキ、ゼリーなどを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し一日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には刻みやムース食などへと随時変更しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	入居者様の状態に応じ、声掛け・見守り・介助を行い必要に応じて歯科医師の往診・歯科衛生士の口腔ケアをお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンが把握できるように努めトイレへの誘導・介助ができるよう心掛けています。	排泄パターンを把握したトイレ誘導を基本としている。入院した場合は、退院時に立位が可能な状態になるように病院と調整を行っている。退院時の紙おむつから紙パンツへの移行、トイレに座る生活習慣、トイレで排泄があるまで座るなど、状態像に合わせた排泄の自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況を確認し、便秘傾向の方には乳製品の摂取を促したり、医師や看護師に相談し薬剤の調整をしながら便秘予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2～3回の入浴援助を行っています。無理なく個々に応じた入浴介助を行っています。色々な入浴剤を使用し温泉気分を楽しんで頂いています。	ゆっくりと入浴ができるように、週2～3回の午後で、13:30～15:00の時間帯で入浴している。利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間など、柔軟に対応している。色々な入浴剤を活用し、温泉気分を楽しんで頂いている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	一人ひとりの状況に応じて、安 心して休息できるよう配慮してい ます。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている。</p>	処方される薬の説明書は、一人 ひとり分かりやすいようにファイ リングし、必要時には確認してい ます。また、個々にあった服薬 援助を行い病状や副作用の観 察を行っています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	軽作業・レクリエーション・体 操などで張り合いや喜びを感じ たり、気分転換が図れるように 個人に合った役割を提供できる ように支援しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	コロナ禍で戸外に出ることが できない状況でしたが、医師に 外出許可を経て、桜の季節に 近所へ花見に行きました。季節 に合わせて行事を計画、実施 したり、家族の協力を得て ドライブに出かけたり散歩でき るよう努めています。	現在はコロナ禍で外出自粛だ が、感染状況を踏まえ、医師 と相談を行い、今年の春には 花見が実現した。コロナ禍 でも出来る方法は無いだろ うかと常に考え、散歩や市 内のドライブ、事業所玄関前 の駐車場、ベランダなどで 椅子を並べて日光浴を楽し まれ気分転換を図っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	入居者全員、小口の預かり金 があり、事務所で管理してい ます。必要に応じて使用して います。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人が希望されれば、その都度対応しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは物の配置などを工夫している。季節感や生活感を取り入れる事で、居心地よく過ごせるようにしています。</p>	<p>利用者の作品を壁面に飾り付けをしている。テーブル、ソファなどの角度の配置を工夫している。共有スペースは全体が見渡せるように配置し、ベランダには、プランターの花を眺めることができ、窓越しに季節を感じる空間である。温度や湿度に気を配り、過ごしやすい環境を整えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファに座ってテレビを見たり、テーブル席で隣席の入居者様と会話する事もあります。共有空間は自由なスペースとして思いのまま過ごして頂いています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には使い慣れた私物を持って来られたり、家族写真を飾られたりし、穏やかな気持ちになれるような空間になっています。</p>	<p>利用開始前には見学をお願いし、基本は自宅で使用している使い慣れた物品などの持ち込みをお願いしている。居室をより解り易くするために、居室入り口付近に、ぬいぐるみ、花や暖簾を設置し、工夫している。本人や家族と相談しながら快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの配置や室内はバリアフリー対応なので安全に生活できる環境になっています。一人ひとりの居室環境の整備等にて、安全・自立に配慮しています。</p>		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に気本理念をつけて共有し、実践するよう心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会していますが、施設近隣の住民の高齢化が進み、困難になっています。また、新型コロナウイルスの影響により、外部との関わりができていないのが現状です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	災害時の地域の方々の一時的避難所としての提供を考えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は新型コロナウイルスの影響により、運営推進会議が定期的には開催できていませんが、以前は2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、運営の状況等を報告し、出席者との意見交換や質疑応答などを行っていました。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	なにかあれば高齢者福祉課に相談させて頂いたりしています。また、運営推進会議を開いた際には、施設の状況を報告しています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	現在は新型コロナウイルスの影響により、研修会への参加ができていませんが、以前は研修会にも参加し職員の身体拘束について理解を深めていました。 定期的に施設内で勉強会を開いています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	現在は新型コロナウイルスの影響により、研修会に参加はできていませんが、定期的に施設で勉強会を開くことで、職員各自が自覚を持ってケアを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている利用者がおられるため、研修会を行い職員の理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時に、締結・解約・改正等の説明を行い、十分に納得、理解して頂けるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見箱を設置し家族様が意見を伝えやすい環境を整えています。 現在は定期的に運営推進会議が開けていませんが、運営推進会議を開催した際には参加して頂いて、意見交換の場を設けています。 利用者様には日頃の会話等で要望されていることを聞き取り、サービスへ反映できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回フロアミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に代表、管理者、リーダーで会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めています。また、スタッフから要望などを聞き、働きやすい環境を作るようにしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内の研修、施設外の研修に積極的に参加するよう配慮していますが、現在は新型コロナウイルスが原因で施設外の研修が少なくなっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会に参加した際には、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方と意見交換をして、サービスの質が向上するよう努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の施設見学で管理者とケアマネージャーが家族様、本人様と面談を行い、話を傾聴しながら、関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用時に、家族様・本人様の不安・要望等をその都度確認し把握に努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前本人様と面談を行い、必要とされる支援を含めたサービスプランになるよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様にできることや可能な家事などをお願いし、職員がサポートして行い、良い関係が築けるよう努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と良い関係が築けるように、来訪時には近況報告だけではなく、雑談などもしながら関わりを持てるように努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>御近所の方や友人の方などの面会も受け入れるようにはしていますが、現在は新型コロナウイルスにより、面会が難しい現状です。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションでの関わりや、日々の様子の中から、利用者様の関係を把握し、生活ができるよう支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了時、家族様からの相談等があれば対応できることを伝えていきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様それぞれに担当を決め、本人様の希望や意向を聞き取り把握し、支援の方法を引き出しミーティングなどで話し合います。そこからケアプランの見直しも検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴や普段の暮らし方など本人の会話や関わりの中から引き出し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の生活を過ごしていく中で、心身の状態や身体機能の現状を把握し、無理のないようなペースで施設の生活を送っていただくよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様それぞれに担当の職員を決めており、月に1度のミーティングで意見交換をし、ケアプランに反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用しながらスタッフ間での情報を共有し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	家族様やご本人様からの要望にはできるだけ対応したいと考えています。要望があれば、変更や追加をして、希望に近づけるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域包括支援センターの協力を得ながら地域の資源を活用していきたいと考えています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の協力医院の往診（内科・歯科）、急変時や専門医への受診が必要な際は適切な医療が受けられるように、他医院への紹介等対応して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃の様子を報告し、24時間体制で連絡が取れるよう緊急時にも対応して頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリー、看護サマリーで情報交換をし、施設とソーシャルワーカーと連携を取り施設での安全な生活が送れるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期や看取りの勉強会を行い、職員の理解を深めています。また、利用者様の入居時には重度化した場合の受け入れ施設の申し込みをして頂き、当施設でも終末期に向け事前確認を行い、家族様とも話し合い十分なケアが提供できるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDや急変マニュアルを活用し、勉強会を実施し、急変や事故の時に対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練の実施、火災や自然災害時の避難場所を決めています。マニュアルに基づき災害時に対応できるように訓練を行っていますが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言に伴い、実施できていない回もあります。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	施設内・施設外の研修や勉強会などに参加し、思いやりを持ったケアをできるよう努めています。また利用者様のそれぞれの性格を把握し適切な声掛けや対応ができるよう考えてケアを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話から希望を聞き出したり、家族様に相談させて頂きながら、多様な選択肢を設け、本人様に選んで頂けるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によっては職員側の都合を優先することもあります。個人の想いを尊重し無理のない生活を支援できるよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問美容の方に来ていただいています。日常着はご本人様に選んで頂いたり、困難な方には身だしなみが整えられるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	本日の献立の話をしたり、行事のときは職員と一緒に作ったりしています。おやつも既製品だけではなく手作りの物も提供しています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分量のチェック表を利用し、1日に必要な量が確保、維持できるように努めています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけ、見守りを実施しています。必要に応じて、歯科医師、歯科衛生士の歯科治療と口腔ケアをお願いしています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を活用し、一人一人の排泄パターンを把握するようにし、トイレへの誘導、トイレでの排泄を心がけています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄状況を確認して便秘傾向の方には乳製品を摂取していただいたり、薬剤師と主治医に相談して予防に努めています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の入浴援助を行っています。入居者様からの要望や気分を尊重し、気が向かない日は別日にするなどして対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>入居者様の無理のないよう、一 人一人の状況に応じて、安心し て休息や臥床ができるよう配慮 しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>協力薬局の薬剤師と薬の管理を 行い、処方された薬の説明書は 個別にファイリングし分かりや すくしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>家事・軽作業・レクリエーション や体操などで気分転換に併せて 心身機能の維持に努めています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>季節に合わせた行事を計画して います。 現在は新型コロナウイルスの影響 で外出支援は実施できていない ため、天気の良い日はベランダ で日光浴をして気分転換をして 頂いています。 主治医の許可の元、春には1度 施設の近くに花見に行くことが できました。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入居者様全員、預かり金があり 、事務所で管理しています。本 人の申し出があれば使用できる ようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時にはその都度対応しています。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	共有スペースは過ごしやすいように、物の位置を工夫しています。壁画や装飾は季節感を演出し居心地良く過ごせるようにしています。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	共有空間は自由なスペースとして入居者様の思いのままに過ごしていただいています。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	居室には使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾ったりして穏やかな気持ちで過ごせるようにしていただいています。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	施設内はバリアフリー、手すりを配置し、一人一人の居室の環境の整備等にて、安全に自立できるよう配慮しています。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 令和3年8月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	46	夜間眠れず、不穏になる利用者様がいる。	利用者様全員が毎日安心して休んでいただけるようにする。	不穏や不眠につながる原因を把握し、改善する。	半年
2	48	毎日の体操は同じものになっている。家事は職員だけで終わらせてしまう事がある。	一人一人に合った楽しみ、役割を提供する。	新しいレクリエーションや体操をしたり。できる家事は利用者様にお願いする。	半年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。